

# 京都市ドバイ情報拠点レポート(2018年12月・2019年1月分)

## 1 統計

○訪日旅行者数(UAE)※データ発表なし

○京都市内ホテル対象宿泊実人数(UAE)

・2018年12月 116人(2017年12月 117人)(対前年比-11.8%)

対象施設数:52ホテル

・2019年1月 73人(2018年1月 57人)(対前年比+13.4%)

対象施設数:54ホテル

※出典 京都市観光協会・京都文化交流コンベンションビューロー「外国人客宿泊状況調査」 ※対前年比は総営業部屋数の差異を補正反映

## 2 市場動向

### 中東観光マーケットトレンド

- 宿泊状況:2018年1-12月延べ人数、UAE 2,889人(前年比74.2%)、サウジアラビア 1,004人(81.9%)、カタール 1,030人(135%)
- 10-11月中には、16媒体で京都情報の掲載を達成(ドバイ拠点の情報配信によるもの。)
- ドバイ政府は昨年のVAT(付加価値税)の導入以降落ち込んでいる企業数を増加させるため、旅行会社に義務付けられているバンクギャランティー(保証金)を撤廃し、新規企業を立ち上げやすくする政策を発表した。これまで規模により、100,000ディルハムから600,000ディルハムの保証金が必要だった。主に2020年の万博開催に向けてのUAEへのインバウンドを狙っての施策だが、アウトバウンドも並行して行う業者が多いため、アウトバウンドへの良い影響も考えられる。
- エティハド航空は7月1日からソウル便をエアバスA380に機種変更すると発表した。ソウルはエティハドのA380便就航地としてロンドン、パリ、ニューヨーク、シドニーに次ぐ5番目の都市となる。3部屋からなる完全個室のThe Residence、ファースト9席、ビジネス70席、エコノミー405席でのデイリー運行。